

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月2日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	久万高原町役場	代表者名	町長 河野忠康
担当者部署	まちづくり営業課	連絡先電話番号	892-21-1111
担当者役職	班長	担当者氏名	窪田成志
住所	791-1201 愛媛県久万高原町久万212		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「DX」を難しく考える必要がない理由を事例を示して解りやすく解説していただき、今後のDXの展望を知るうえで常に確認しておいた方がよいWEBサイトを紹介いただいた。また、オープンデータを進めるための段階的取組と、全国の多くの自治体が活用しているオープンデータWEBサイトを紹介いただくなど、こちらが知りたいことについての確にアドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	なし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月1日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	久万高原町役場		最寄駅	JR四国バス久万高原駅
	所在地	愛媛県上浮穴郡久万高原町久万212番地		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DX推進の必要性を感じる場面少ないが故に知識が乏しいため、地域住民のためのDX推進に必要な職員のDXに対する意識啓発・知識向上が課題となっています。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	DXに対する職員のリテラシー向上が少しでも図りたいです。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	現在、デジタル社会と関連して利用されている言葉は、実はちょっと前は別の呼び方をされていただけで、基本的に同じものを指すことが多く(例「AI」=「マイコン」)、そう考えると「DX」が解りやすくなること、また、オープンデータを進めるには、まず、職場内各部署間でデータ共有化による利活用を進め、自分たちが実際に使って理解しないと進まない等、解りやすく納得のいくアドバイスでした。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DX、データ活用の講演においては、難しく考えていたDX概念が以前から身近に存在していたこと、オープンデータは、まず自分たちのデータを自分たちが試してみることを教えていただき、DXを今までよりも身近なものであると認識出来ました。今後更なるリテラシー向上を目指すうえで、良い入り口の初期研修になりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	職場内でのデータ共有について、その方法等についてはアドバイスを頂いているので、後は当町側の運用をどうするか段階と考えます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演については、数名の参加者から感想を聞く予定であったので、アンケートを行っていません。参加者からは、「久々に大学の講義を受けているようで面白かった」「パソコンとインターネット使っていること自体が、デジタル化といって良いと解っただけで、なんだか頭が整理出来た気分になった」「職場でデータ共有しそれを活用する習慣が必要ですね」といった感想でした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	DXリテラシー向上については継続して毎年のレベルアップを図りたいと考えています。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

